



村田徹也教授 近影

略 歴

- 一九三二年 愛知県に生まれる
- 一九五四年 名古屋大学文学部東洋史学科卒業
- 名古屋市公立中学、高校に勤務
- 一九八九年 愛知教育大学非常勤講師
- 一九九一年 愛知大学教授（特任）
- 二〇〇二年 定年退職

主な業績

著書

- 『中学生の班ノート』（鳩の森書房）
- 『わかるということ、わかりかた』（同右）
- 『子どもの側に立つ教師』（あゆみ出版）
- 『自立への模索』（かもがわ出版）

論文

- 『教育裁判と裁判官の教育観』（『季刊教育法』）
- 『教科書裁判の中での法判断と教育判断』（愛知大学「文学論叢」）
- 『大学生の「自己形成」』（愛知大学「文学論叢」）